

# みんなの 町議会

神石高原町

第49号

平成29年1月15日

みんなのしあわせを  
祈念して



■新体制でスタート	2
■町長所信表明	4
■町政のここを聞く(一般質問)	7
■ありやあどうなったん	17

# 体制でスタート

## 第6回臨時会

平成28年第6回臨時会が12月8日に開かれ、議長・副議長・監査委員が決まり、新人議員2人を加えた12人の議会構成となり気分も新たにスタートしました。



### 議会構成

○議長

松本 彰夫

○副議長

寄定 秀幸

○監査委員

橋本 輝久

○福山地区消防組合議会議員

小川 清治

○広島県後期高齢者医療  
広域連合議会

久保田龍泉

○議会運営委員会

委員長

藤田 晃己

副委員長

久保田龍泉

委員

木野山孝志

横尾 正文

横山 素子

○総務文教常任委員会

委員長

横尾 正文

副委員長

木野山孝志

委員

松本 彰夫

赤木 俊二

林 憲志

小川 善久

# 挑戦の まち

# 12議員新



神石高原町議会議長 松本 彰夫

## 新年のご挨拶

新年おめでとーございます。

皆様には平素から町議会に対する  
暖かいご理解とご協力を賜り心より  
お礼を申し上げます。

今回から議員定数が12人となりま  
したが、議会活動は低下しないよう  
に、分かり易く信頼される議会を展  
開したいと思ひます。

神石高原町も、牧野町長から入江

### ○産業建設常任委員会

委員長 久保田龍泉  
副委員長 小川 清治  
委員 藤田 晃己  
寄定 秀幸

### ○議会広報常任委員会

委員長 赤木 俊二  
副委員長 横山 素子  
委員 木野山孝志  
林 憲志  
小川 善久

町長にバトンタッチされました。

議会も、新しい体制となり、行政  
のチェック機能の役目を果たし、積  
極的に政策提案を行い、町長と切磋  
琢磨しながら、今後も皆様の声を  
しっかりと拝聴して、それが形となっ  
て表れますように議員全員一丸と  
なって頑張ります。

今年一年が町にとって、皆様に  
とって素晴らしい年になりますよう  
に祈念して、年頭のご挨拶といたし  
ます。

12月  
定例会

12月定例会は、12月13日から21日まで開かれました。  
町長所信表明、参事の設置に関する条例の制定、副町長・監査委員の選任の同意などや、平成28年度一般会計補正予算ほか、各特別会計補正予算が審議され、一般質問では10人の議員が町政について質問しました。



神石高原町長  
入江 嘉 則

牧野町政を引き継ぎ、さらに満足度の高い、持続可能な神石高原の創造に挑戦していきたい。  
私の言う挑戦は、自分の目標や夢、やってみたいことに向かって一歩踏み出すことだと考えている。実現しようとする意欲を持つこと。自分の目標や夢に向かって一歩踏み出す気概をもっていただければ、また、その目標や夢をみんなが支援しようという気持ちになれば、この町は変わっていくと確信している。その一歩を踏み出すお手伝い、ご支援すること、その仕組みを作ることが町長としての仕事だと考えている。  
既成概念にとらわれず、外部からの視点も取り入れながら、8つの挑戦を柱に「誰もが挑戦できるまち神石高原町の創造」に取り組む。

## 町長所信表明(要旨)

## 一歩踏み出す挑戦

## ① 超高付加価値農業の推進

プレミアムブランドを構築し、農業を中心とした暮らしが可能になるような取り組みを進める。

## ② チャレンジファンドの創設

起業支援・新規就農支援などの資金的支援団体を創設する。

## ③ 協働のまちづくりの推進

地域が主体のまちづくりを行う政が支援する。お互いを補完し地域課題の解決に取り組む。

## ④ 人材育成

今後、海外を対象とした仕事が増加し英会話が必要となる。町内の保・小・中一貫した英語教育を行う。

## ⑤ 町民が尊敬しあえる環境づくり

町内の「達人」と呼ばれる方の技術や品物は仕事に発展する可能性がある。若者が引き継げば新たな業が生まれる。

## ⑥ 定住促進の強化

人口減対策として第二の定住型住宅団地販売を検討する。

## ⑦ 医療・福祉サービスの充実

今後高齢者の方が安心して暮らせるため、専門家の意見を聞き包括的支援策の構築を行う。

## ⑧ 行財政改革の推進

引き続き計画的な改革をし、より収入を得る行政への転換を図る。



神石郡畜産共進会

# 平成28年12月 補正予算

## 主な補正事業

遊休財産の解体処分等  
(旧豊松中学校校舎解体等) **5620万**  
 ふるさと納税寄付金補助 **9310万**  
 協働のまちづくり基金 **500万**  
 臨時福祉給付金(経済対策分) **4245万**  
 など

## 予算総額

補正予算 **4億6709万**

補正後予算現計 **167億1416万**

## 平成28年度 予算会計別総括表

単位：万円（四捨五入）

会 計 名	12月補正	12月補正後予算	
一 般 会 計	4億4176	119億8387	
特 別 会 計	国民健康保険	1328	12億9566
	後期高齢者医療		3億8852
	介護保険	78	19億4873
	簡易水道事業	415	4億0054
	飲料水供給事業	62	3942
	農業集落排水事業	614	2億5515
	分収育林事業		10
	総合開発事業	37	714
	特別会計計	2533	43億3527
	病院事業会計		3億9502
合 計	4億6709	167億1416	

## 補正質疑

### 時間外勤務手当

**木野山議員** 時間外勤務手当の追加補正が計上されているが、仕事の配分や人員配置の工夫で抑えられないか。  
**町長** 業務の中心を各担当課長と早急に検討する。4月の機構改革を含めて人員配置も考えていきたい。

### 観光協会の移転

**木野山議員** 観光協会の移転に伴う整備だが、町の玄関口への設置と位置づけるように整備すべきでは。  
**町長** 道の駅のリニューアルの中で、充実するよう考えていきたい。

### 空き家解体補助金

**横尾議員** 空き家解体補助金が、4件分補

正で予算化されている。今後も続けていくのか。

**町長** 続けていきたい。今後は、期間を切って申請をして頂き、数を把握して予算を組みたい。

### 保育所用地の確保

**久保田議員** 議会では保育所用地を確保し、神寿苑に貸与するよう報告したが、いずみ保育所保護者より園庭の幅を計画より広くするよう要望書が出た。なぜこのような事になるのか。  
**副町長** 神寿苑・少年野球・保育所と住み分けの協議を行った。保

幅は18〜20



いずみ保育所建設予定地（旧神石中学校跡地）

mぐらいで保護者に提案を再度行う。

### 管理体制

**横尾議員** クリーンセンターじんせきの計量コンベア搬送ベルトの破損による修繕費が高額だ。管理体制は。環境衛生課長 マニユアルに沿って定期点検はしているが、こは点検が十分でなかった。

# 条例制定・改正 こんなことが決まったよ

## 人事案件

### 選挙管理委員会委員

山内 輝幸 田邊 浩一  
小坂 芙美 山本 誠

### 選挙管理委員会補充員

酒井 宏史 横山 輝明  
守多 三郎 藤岡 健三

### ■選任の同意

副町長 森重 純也

監査委員 橋本 龍之(代表監査委員)

監査委員 橋本 輝久(議会選出委員)

### 農業委員会委員

佐伯 知省 小川 玲子 向 靖弘  
正木 正二 大埜 益旨 美田 雅彦  
伊勢村春行 伊勢村正治 若林 宏明  
井上 賢市 立原 孝生 圓道タミ子  
小里千恵子 小坂 貢

### 固定資産評価審査委員会委員

宇賀 拓郎 横山 輝明  
江草 忠行 国平 正文

### ■任命の同意

教育委員会委員 山本 剛久

教育委員会委員 吉津 賢秀

賛成9  
反対2

## 条例の制定

・参事の設置に関する条例

地方創生総合戦略の実施や病院、庁舎建設等、山積する諸課題の解決に向けた調整を指導するため参事の設置。

### ■反対討論 橋本輝久議員

山積する課題の解決に向け主導的立場で指導するためとなっているが、副町長職もありながら参事を置く必要性があるのか。  
町長の諮問機関を設置し、各角度から検証することが良い結果に繋がるものと考えます。

### ●賛成討論 藤田晃己議員

地方創生や町立病院の新築移転・庁舎耐震化対策は急を要する問題であり、さらに第2の定住団地の早期完成という課題が山積している。

参事の立場や権限等熟慮され、円滑な行政運営がされることを望み賛成意見とする。

全会一致

## 条例の一部改正

・病院事業の設置等に関する条例

介護療養病床を平成29年3月31日に廃止することに伴う12床削減のため。

他5件

## 議員発議

### 地方議会議員の

### 厚生年金制度への

### 加入を求める意見書

町村では議員への立候補者が減少し、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。こうした中、議員を志す新たな人材確保につながるためにも、地方議会議員の厚生年金制度加入の法整備を早急に実現するよう強く要望する。

提出者 神石高原町議会議員

藤田 晃己

賛成者 久保田龍泉

賛成者 木野山孝志

賛成者 横尾 正文

賛成者 横山 素子

質疑の一部を要約してお伝えします

質問時間は、答弁を合わせて一人一時間以内で一問一答方式

## 問 合併特例債はいくら借りられるか

答 74億円あまりだ



小川 善久 議員

**Q** 合併特例債はいくら借りられるか。

**A** 町長 起債可能上限額は96億9470万円。

**Q** あといくら借りられるか。

**A** 町長 74億2110万円。これまで、合併特例債による基金積立を、19億円行つた。建設事業へは、残り74億810万円使用可。

**Q** 建設事業について、何年で償還可能か。

**A** 町長 建物の耐用年数によって変わる。元利償還金の内3割を払えば良いことになっている。

### 医療体制は

**Q** 患者の減少対策は。

**A** 町長 神経外科と呼吸器内科を加え7診療科目とし、「もの忘れ外来」「訪問リハビリテーション」も開設している。

**Q** 病床数は、83床となる。今後の計画では60床以下へ削減される予定だが、町内医療施設との連携は。

町立病院から患者紹介は、昨年度は509件、逆紹介は123件で、町立病院への転院の際の病床数は現在確保できている。

**Q** 町長 患者の紹介や看取りの連携体制は、今後益々重要になると考えている。退院カンファレンスで、退院後の住まいの場や医療の受け方などを協議している。

訪問看護の際に患者さんへ薬の配達を行っている。

**Q** 町外医療機関との連携は。

**A** 町長 町立病院からの転院は院内の「地域医療連携室」を通じ、備後圏域以外の病院への調整も行っている。

**Q** 町内在宅介護との連携は。

**A** 町長 住み慣れた場所です安心して暮らしていただくため、医療と介護が連携した在宅医療を進めている。

訪問看護は、町立病院を退院する前「地域医療連携室」で、本人や家族の希望をもとに話し合いを行っている。



介護施設のカンファレンスの様子（ビーブル神石三和）

# 問 買い物支援事業の拡大は

答 協議を重ね判断する



林 憲志 議員

**Q** 神石地区内での買い物支援事業は年々利用者が増大し、事業を拡大して欲しいとの声がある。町長の見解は。

**A** 町長 事業を行う主体と利用する方の要望や思いもあるので、協議を重ねながら、どのような支援が適正かを判断していく。

## 森林セラピーは

**Q** 森林セラピー事業を始めて一年半が過ぎる。ストレスゼロの町でお客様に質の高い「癒し」を与える事が出来る環境づくりをするべきだと思いが、一般客の利用が少なく、地元在住ガイドの参加も少ない状況をどう考えるのか。

**A** 町長 町外の（都市部）企業研修や一般客の受入れを増やし、ガイドの方に一層活躍して頂きたい。

## プレミアムブランドとは

**Q** 所信表明の超高付加価値を持つそれ

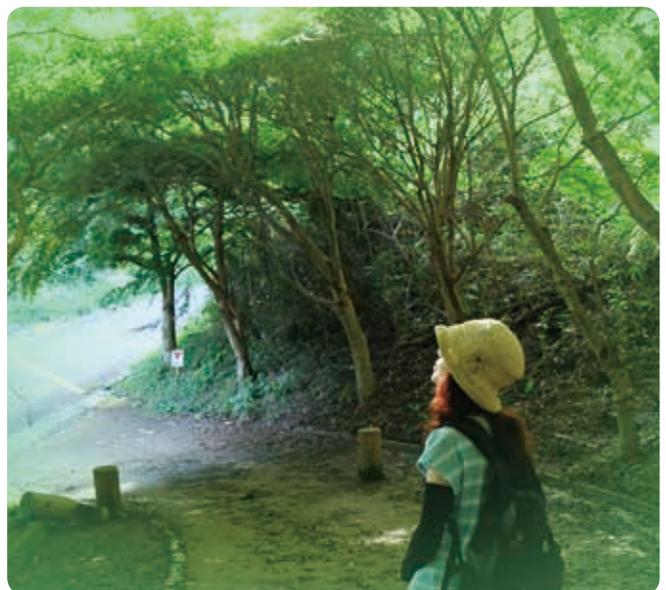
ぞれのブランドを統一したブランドに昇華し、「神様」をイメージした神石高原プレミアムブランドを構築していくというのは、具体的にどんなイメージか。また「神様」のイメージでもある既存の神石高原四仙人衆などはリストラになるのか。

**A** 町長 神楽や神社など、神秘的なイメージを融合させた町の魅力が発信できる物語「JIN（神）プレミアム」ブランドをつくる。

神石高原四仙人衆などは観光協会が行っているもので、町がリストラをする事はない。折角できているので、新ブランドとは別物として残す。



神石ふれあいローソン号



森林セラピー 仙養ヶ原ロード



赤木 俊二 議員

## 問 交通インフラの整備は

**答** 長期策定計画に従う

**Q** 道路は流通に対し重要な役割を担っており、今後町の定住促進・産業発展には欠かせないと考える。国・県道の現時点での改良予定は。

また、道路の総合的な改良について、調査・期限などは計画しているのか。

**A** 町長 国・県道は県の道路整備計画に基づいて整備されている。事業実施においては、積極的に国や県

に向けて要望していく。町道に関しては、長期策定計画に従って見直す予定だ。期限に関しては、長期総合計画の中を見ながら進めていく。

### 庁舎耐震対策

**Q** 現時点では全庁舎を建て替えという

ことは考えておらず、庁舎検討チームを作つて29年度中には方向性を出すと言われたが、防災拠点として、地震などの災害によって、近寄るのも難しい。庁舎への進入路をどうするのか。

また合併時の協定書にある「新築の場合は182号線沿い」の内容に対してはどう考えるのか。

**A** 町長 協定書の内容は理解してい

る。庁舎全体の建て替えは考えていないが、検討が必要のため現時点での回答は出来ない。

### 教育現場でのICTの活用

**Q** 生徒や児童の意欲・積極性・達成感・学力などの向上のために、ICT(情報通信技術)を活用した効果的な教育の推進が必要だ。

教育は、子育て世代の定住促進への大きな要素であると考えが見解は。

**A** 教育長 現在は電子黒板の配置があり、それによって授業が行われている。

ICTを効果的に活用することによって、学力の向上にも関わってくる。今後徐々にでも活用を広げていきたい。

また、タブレットを使った授業は、予算と教員の資質・能力が大事である。配備の計画があれば現場とも話をしながら進めたい。

**A** 町長 教育は、定住促進にとって重要な要素である。神石高原町は教育環境も充実していると認識してもらい、移住者を増やしていきたいと考える。



改良が待たれる国道182号線

# 問 超高付加価値農業とは

答 さらなる統一ブランドを



横山 素子 議員

**Q** 第一の挑戦で、超高付加価値農業の推進とは具体的にどういうことか。

**A** 町長 神石牛や豊を、さらに牽引する神石高原町がイメージ出来るような統一ブランドを考えている。「JIN(神)プレミアム」これを基に東京や海外へ販売戦略を考えていきたい。

## 道の駅のリニューアル

**Q** 政策提言の中に182ステーションの大胆なリニューアルとあるが、具体的には。

**A** 町長 老朽化が進み、利便性や見栄えもかなり悪くなっている。町の玄関口として、再整備したいと考えている。

## 有害鳥獣対策

その他の産直市場においても、お客さんが利用しやすいようにリニューアルしていく。

**Q** 本町の産業は農業が主であり、農業を中心とした暮らしが可能になることが理想である。農業生産者の方が今一番困っておられるのが、有害鳥獣被害だ。

この実態の把握と、対策について町長の見解は。

**A** 町長 本年度、全戸を対象として被害状況調査を行っており、平成29年2月には、集計結果が出る予定だ。今も対策は講じているが、歯止めをかけられていないのが現状だ。

## 高齢者支援策

関係機関や民間団体などで構成する「里守り犬育成事業プロジェクト」を立ち上げ、サルやイノシシの追い払いの対策を講じていく。

**Q** 町長は8つの挑戦を掲げ、「誰もが挑戦できる町」を目指しておられる。高齢者の世帯の方は何を挑戦すればいいのかが。

**A** 町長 高齢者の方が安心して暮らせるために、家の中に閉じこもらず、目標や夢に向かって一歩踏み出す挑戦をして頂ければ、その支援や仕組みを作っていきたい。

## 商店街の活性化

**Q** 商店街へ活気を戻すため、また油木

高校生や地域の人が集える場所を作りたいという挑戦に対して、町長はどんな支援ができるか。

**A** 町長 油木高校を育てる会へ1千万円の補助を出している。地域の中でやりたいという声があれば、空き家なども活用して挑戦して頂きたい。できる支援はしていく。



優秀賞受賞の神石牛（県畜産共進会）



横尾 正文 議員

## 問 協働支援センターとの関わりは

答 担当部署が関わる

**Q** 町がコーディネーター役を担うが、協働支援センターに対する今後の関わりは。

**A** 町長 計画内容によって担当部署が関わる。

**Q** 協働支援センター側から事業提案があった場合の予算付けは。

**A** 町長 案件により一括交付金になじまず、予算の支援が必要なものであれば予算化していく。

### 「有機の里」構想

**Q** 神石地区で「有機の里」構想が協議されているが、新規研修生の住居は。

**A** 町長 町営住宅や民間の宿泊施設の利用、空き家の活用などシェアハウスも含め検討する。またニーズのある地域においては、PFI事業※など民間と連携したものを活用したい。

**Q** 「有機の里」は力レジット方式であるが、就農支援の補助制度はあるのか。

**A** 町長 町では、6カ月以上1年までの研修生を受け入れた場合、一人につき月8万円を農業法人に助成している。

また国の青年就農給付金「準備型」の認定を受ければ、研修生に年額150万円、法人

に一人当たり年額120万円が支給される。これらの対象にならない場合は、ニーズに対応した制度を考える。

**Q** 将来町内で、有機農業をするための農地の斡旋はどうするのか。

**A** 町長 町が補助している農地集約補助金に加え、農地中間管理機構を介し、農地の集約化を図れば、上乘せの助成制度もある。また、リタイヤを考

えている農業法人や個人農家とのマッチングをし、主体的にしっかり取り組むところへ農地の斡旋をする。

### 買い物支援と見守り

**Q** 国の補助期間がきれる平成29年4月以降のシステムをどのように考えているのか。

**A** 町長 神石地区では、協働支援セン

ターを中心に検討を重ねていることは承知している。内容を確認し、協議しながら対応する。

**Q** 神石の他地域でも要望があるが。

**A** 町長 範囲を広げたいということも聞いているので、買物支援の仕組みなども含め事業主体となる団体と調整を行う。

**Q** 現在、運営スタッフがボランティア的になっているが、今

後の対応は。また車両の更新は。

**A** 町長 買い物支援の仕組みが重要と考えているので、車両も含め事業主体となる団体と協議していく。

### その他の質問

・所信表明について

※PFI事業

民間の資金や経営手法・技術力を活用して公施設などの社会資本を整備すること。



有機農業を目指す研修生

# 問 各地区のまちづくり支援は

## 答 基本的に一括交付金で



橋本 輝久 議員

**Q** 各地区のまちづくり計画には、ソフト、ハード面などの事業が予想されるが、要望に對しどう支援するのか。また具現化に向け予算づけも含め、基本的な考えと取り組みは。

**A** 町長 現在、各地区の協働支援センターで、まちづくり計画を策定中だ。基本的に一括交付金の中で対応するが、まちの行政施策とすり合わせながら、どのような支援策（財政負担も含め）が

できるか検討し実施していきたい。  
また、一括交付金になじまない事業提案などは、補正予算対応も含めスピーディーに対応していきたい。

### 町立病院の今後

**Q** 現状のままでの運営では、今後も経費が膨らみつつける予想だ。どのような対策と対応を考えているのか。  
また建て替えの方向だが、病院事業の内容も併せて考えることが必要では。

**A** 町長 病院の規模・機能については、患者動向を勘案し再検討するが、当面現状の科目を原則として進めていく。  
また、建物については、建て替えを考えている。今後プロジェクトチームなどで検討していく。

### 本庁舎の建て替え

**Q** 本庁舎は、耐震調査から、強度を満たさない箇所もある。既存の施設改修か、現在地に建て替えか、新築移転か。

**A** 町長 当面、耐震補強できない南側部分をどのようにするか検討する。現時点では、新たな庁舎全体の建て替え移転は考えていない。  
ワンストップサービスの提供を考え、窓口業務を行う部署を病院と合わせて整備する方法も有効ではないかと考えている。合併特別債を活用するためには、早急に判断しなければならぬ。

### 各地区の定住対策

**Q** 人口減少や定住対策は、インパクトあるかつ大胆な施策を

考え実行しなければ解決しない大きな課題だ。各地区の地域性と地形は異なっているが、どのように考えているのか。

**A** 町長 第2定住団地の整備など直接的対策と、補助金など間接的対策と2段階構えていきたい。また、移住者の住居が不足している地域には、PFI事業なども視野に入れ早急に検討したい。

### 目的基金の活用

**Q** 目的基金は、将来につなげる施策を実行しなくてはならない。どう活用していくのか。

**A** 町長 将来へ向けた積極的な投資は必要と考えている。最小の経費で最大の効果を創出するよう、選択と集中により効果的な活用を図りたい。



まちづくり計画策定委員会（豊松地区）



久保田 龍泉 議員

## 問 町立病院の方向性は

**答** 改革が必要だ

**Q** 病院の存続は願っているが、現在の病院経営は患者数の減少で厳しい。経営改革の方向性についての見解は。

**A** 町長 交付税の範囲内での持ち出しを予定していたが、現状は経費負担が増して、全ての診療科目で赤字となっている。セーフティネットとしての機能は必要であり、持ち出しはやむを得ないが、町の負担は増加しており改革が必要だ。

地域医療構想を勘案し、新築移転後の病床数は60床以下で協議している。合併特例債を財源に、来年度基本計画・設計に着手したい。

**Q** 国の規制改革では、院外薬局を病院敷地内に開設できるよう答申が出た。見解は。

**A** 町長 病院建て替への協議の中で検討する。

### 公民館業務

**Q** 協働支援センターと公民館を統合する計画があるが、その必要があるのか。

**A** 町長 協働支援センターの中で生涯学習を担っていただきたい。

**Q** 協働支援センターの構想が出たとき、公民館統合の話はなかった。

行政の仕事を丸投げしているのでは。

**A** 町長 各公民館の予算執行にばらつきがある。協働支援センターと協力して、活動を発展的なものにしてもらいたい。

**Q** 活動団体との対話は。

**A** 町長 対話はしていないが、説明責任はある。

**Q** 公民館職員の雇用形態は。

**A** 町長 現在の条件で協働支援センターでの雇用となるよう働きかける。

### 危険空き家対策

**Q** 危険空き家が増加しているが、所有者に撤去の指導勧告を行うべきでは。

**A** 町長 町の解体補助金制度があり、解体を促したい。

**Q** 近隣に迷惑をかける空き家は、住宅控除減免の廃止を。

**A** 町長 勧告は法的に慎重にする必要があり、自主的な解体を促したい。

### 公営住宅家賃

**Q** 建築から数十年経過した古い住宅の家賃を引き下げられないか。

**A** 町長 家賃算定には経過年数の係数

があり、家賃は毎年減額されている。

**Q** 「有機の里」構想があり研修生の住居を探している。低家賃住宅構想の実現性は。

**A** 町長 今後は公営住宅法によらない民間活力と提携する形で、安い家賃で入居できる住宅を検討したい。



特定町営宮地住宅（神石地区）

# 問 まちの活性化は

## 答 町民と共に挑戦



木野山 孝志 議員

**Q** ①まちや町民が豊かになる経済的活性化には、他のまちとの差別化へ徹底的な挑戦をすべきでは。

**A** 町長 ①本町は利子補給や店舗改装など他自治体に先駆けて事業や補助金を充実させてきた。政策提言の実行に繋げながら町民とともに挑戦していきたい。②満足度が低く重要度が高いと感じられる項目は「医療の充実」「若者定住」「公共交通」である。スピーディに実施したい。③貴重な財源として活用したい。予算編成で具現化する。

**Q** 8つの挑戦のうち①超高付加価値農業で「米」はどうする。

**A** 町長 ①本町の「米」はランクが高い。期待できる。②チャレンジファンドの内容は。③英語教育の具体化は。

**Q** ①平成28年4月実施の全国学力学習状況調査の結果はどうだったか。

**A** 教育長 ①小中学校とともに全国及び県平均を上回っている。②平成25年6年生時の課題、「話す・聞く・書く」は、県平均を上回り小中連携による指導・改善の成果が表れた。算数・数学も改善の成果は見えてきたが、教科全体ではまだ不十分と思う。③基礎的知識は定着したが活用力が不十分。

### 学力調査の結果は

**Q** 母国語としての「国語」の力が付いてきた事は評価できただけで、「将来の夢や目標がかたう」「自分には良いところがある」「住んでいる地域が好き」など自己実現力・自己効力感などが県平均を下回っている。日常の中で己の自信に繋がる工夫が必要と思う。

**A** 教育長 校長会・教頭会においても、それぞれの課題として捉えている。子ども達の思いは様々だが、突き詰めていきたい。



授業風景 (神石高原中学校)



藤田 晃己 議員

# 問 町立病院の移転は

答 プロジェクトチームで検討

**Q** 町立病院の移転場所は。

**A** 町長 年度内にプロジェクトチームで検討するが、最初のたたき台は、前町長が示した保健福祉センター付近が好ましいとの提案から検討を始める。

## 財政運営方針

**Q** 町長の財政運営方針は。

**A** 町長 財政健全化への取り組みを継続しながら、必要な投資は積極的に進める。

## 小児科医療体制

**Q** 小児科医療体制の構築と病児預かり制度の検討は。

**A** 町長 全国的に小児科医療確保が困難な状況が続いているが、医師会をはじめ各関係機関に小児科医療確保を依頼していく。早急に小児科医療体制を構築するよう努める。

## 第2定住団地

**Q** 第2定住団地の場所は。

**A** 町長 委託業者の提案を参考に早期に場所を決めたい。

## 本庁舎耐震化

**Q** 本庁舎の耐震化は。

**A** 町長 まずは、耐震補強出来ない南側部分をどのようにす

るか検討を行う。庁舎全体を建て替え移転ということは現時点では考えていない。

## 赤と黒のプロジェクト

**Q** 企業の農家育成のための赤と黒のプロジェクトの推進は。

**A** 町長 当面、現在の施策を継続していく。

神石牛の増頭対策として本年度より補助金を拡充し、やる気のある若者には更に投資したい。また、町外の畜産業者や全農ひろしまと誘致に向け交渉中だ。場所の選定など早期に進める。  
トマトの増産目標は平成32年度末で5億円を目指す。

## 企業誘致

**Q** 企業誘致のための産業団地の建設は。

**A** 町長 県と連携し、企業誘致のチャンスが見込めれば、遊休町有地を優先し検討する。

## 子育て支援策

**Q** 今まで以上の子育て支援策の充実は。

**A** 町長 補助金で支援するというのは限界がある。これからは町内で子育てをする価値を高めていきたい。

## 道路整備

**Q** 福山通勤圏としての道路整備の考え方は。

**A** 町長 国道182号は備後圏域連携中枢都市圏でも議論して頂き、引き続き整備を要望していく。

**Q** 老朽化した橋、舗装補修の道路予算の増額は。

**A** 町長 相当な費用がかかることが予想され、財源確保とあわせて慎重に検討する必要がある。



定住団地「星の里いせき」

# 問 企業版ふるさと納税への 取り組みは

## 答 手法を含め検討したい



寄定 秀幸 議員

**Q** 国が認定する自治体の地域活性化事業に寄付した企業が、税控除を受けられる企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)が今年度から始まった。本町も積極的な取り組みをすべきでは。

**A** 町長 企業版ふるさと納税の課題は、①寄付額の6割の控除を受けるが個人に比べると企業にメリットがない。  
②企業に見返りがあつてはならない。  
③手続きが面倒。とい

**Q** 奨学金返還が足かせとなつて地元に戻りたくても帰れない人も多いと言われている。

**A** 町長 実態を把握し検討していきたい。

### 奨学金返還支援を

**Q** 企業版ふるさと納税による「奨学金返還支援事業」への活用が全国自治体で拡大している。U・ターン促進策として、「奨学金返還支援事業」を創設すべきでは。

**A** 町長 現在の法律からして、持ち込みを制約する条例制定をすべきでは。

### 自然環境保全

**Q** 地方創生応援税制の決定自治体は18県26事業、市町村は131の事業が決定している。課題を掲げるだけでなく積極的に取り組むべきでは。

**A** 町長 今後、手法を含め検討したい。

**Q** まちづくりの基盤は豊かな自然環境である。これらの保全と活用はどう取り組むのか。

**A** 町長 「人と自然が輝く町」を基本理念としている。自然環境の保全は、町内はもとより近隣市町への影響を特に注意していく問題である。産業廃棄物処理については、特に重要視していかなければならぬ。住民の生活に及ぼす問題が発生しないよう、法律や条例に基づき、監視・啓発を行っていく。



下水污泥堆肥の埋め立て現場

**Q** 下水污泥を原料とした肥料などには、亜鉛、銅、鉛、カドミウム、ヒ素などの高濃度の重金属が含まれている。

**A** 町長 実態調査をし、対応したい。

# 追跡ありやあどうなったん？

## シルトピアカレッジ図書館の今

昨年4月から指定管理となったシルトピアカレッジ図書館は9か月を経過し、来館者も増加しています。

### 主な取り組み

- ① 図書館に来館が困難な個人宅と団体（保育所、託児所等）へ本の宅配の開始
- ② パソコンの相談窓口を開設
- ③ 毎月、無料映画上映会を開催（自主制作映画も上映できます）
- ④ 無料Wi-Fiスポットの設置

今後も地域の教養・文化の拠点としての役割を担うため、利用者の要望をしっかりと把握し「新たな取り組み」の実現、検証、そして継続へと全力を挙げて頂きたいと思えます。町民の皆さんも図書館をもっと明るく楽しく利用しましょう。



三枝勇貴館長



無料映画会のお知らせ

## まちの声

○よい議会広報ができていますが、もう少しわかりやすい広報誌にしていたらと思います。（83歳 女性）

○高齢化が進んでいます、とても人にやさしい行政が多く子育てにはいい環境だと最近つくづく思います。（60歳 女性）

○毎号楽しく拝読させていたでいます。今後ますますのご活躍を祈念いたします。三和町時代1票差で議席を獲得された議員がいたそうです。今の議員の方にその一票の重みがわかっていてほしい。（38歳 男性）

○いつも読ませていただいています。（61歳 女性）

○サッカー場が1か所あればよいと思います。子どもがのびのびと練習できる場所があればよい。（63歳 男性）

○神石地区ではふれあい祭りがなくなり子ども達の鼓笛隊を披露する機会も減りとても残念に思っています。子どもも大人も楽しめるようなハロウィン祭りなどもあってほしいかなと期待しています。（34歳 女性）

○神石高原町の人口減少が新聞にあった。どのようにしたら人が増えるか。それが一番と思うのですがどうでしょうか。（府中市 男性）

議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございました。  
**クイズの答え**

- ① 公債
- ② 行財政
- ③ 森林

### 第30回議会クイズ当選者

神石地区

藤原 麻亜子さん

おめでとうございます。

# 元気なグループ紹介だよ



## 小島剣道教室

小島剣道教室を紹介します。現在、三和小11人、豊松小2人・油木小2人、三和中6人・神石高原中3人と指導員8人の合計32人で毎週火・金曜日に小島体育館、土曜日に三和中学校の体育館で稽古に励んでいます。毎年元旦に行われている初稽古会は、どんなに寒くても、それに耐える精神を鍛え、自己の弱さに打ち克つ事を目的に行われています。教室にはその意味が込められた『克己』（こっき）の旗を掲げています。そして、稽古が終わった後は、保護者の方々が用意されたお蕎麦をみんなで頂きます。試合で好成績が残せるように一生懸命稽古に励みますので、応援をお願いします。

代表 小川 善久

発行責任者

議長

松本彰夫

住所

広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

## 第31回 議会クイズ

《クイズ》空欄に適切な言葉をいれてください。

1. P25 P3  
12議員〇〇〇でスタート
2. 町長所信表明  
一歩踏み出す〇〇
3. 一般質問P8  
〇〇〇(神)プレミアム

《ヒント》議会広報をよく読んでね。

《応募方法》

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。

正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

《あて先》

〒720-1522

神石高原町小島二〇二五番地

神石高原町議会事務局

「第31回議会クイズ係宛」

《締め切り》

2月13日(月)消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。

## 議会を傍聴してみませんか 次回の定例会は3月です

### 表紙の紹介



神代子供神楽 (くるみ子供神楽共演会)

### 編集後記

議員定数も2人減の12人となり議員報酬が上がったにも関わらず、残念ながら「無風」で終了した町長・町議選でした。

町政や議会に対する関心や魅力が低いといわれますが、議会に少しでも関心をもってもらえる広報誌にしていきたいと思えます。

メンバーも変わり、新人議員も加わり、新体制での発行です。まだまだ未熟ですが今までの広報誌に恥じないような内容にしていきたいので、どうぞよろしくお願いします。(赤木)

### 議会広報常任委員会

- 委員長 赤木 俊二
- 副委員長 横山 素子
- 委員 木野山孝志
- 委員 林 憲志
- 委員 小川 善久

発行 / 神石高原町議会

編集 / 議会広報常任委員会